

総合型選抜(一般)

経済学部・人間文化学部・工学部・生命工学部・薬学部

2026



福山大学

総合型選抜（専願制）募集人員

	学 部 ・ 学 科（コース）	入学定員	募集人員
経済学部	経済学科 総合経済コース 金融経済コース スポーツマネジメントコース	180名	入学定員の10%程度
	国際経済学科	40名	
	税務会計学科 備後経済コース ビジネス・マネジメントコース	50名	
人間文化学部	人間文化学科	50名	入学定員の10%程度
	心理学科 心理臨床コース 司法犯罪コース	70名	
	メディア・映像学科	50名	
工学部	電気電子工学科 電気工学コース 電子システムコース	30名	入学定員の10%程度
	建築学科 建築コース 生活環境デザインコース	70名	
	情報工学科	60名	
	機械システム工学科 機械システムコース 海洋機械コース	50名	
生命工学部	生物科学科 生物機能利用コース 生物多様性コース	50名	入学定員の10%程度
	健康栄養科学科 食育・スポーツ栄養コース 臨床栄養コース フードサイエンスコース	40名	
	海洋生物科学科 資源利用育成コース／フィールド生態環境コース アクアラム科学コース／水産食品科学コース	110名	
薬学部	薬学科	110名	
	合 計	960名	

概 要

総合型選抜は、福山大学の志望する学科（コース）の教育内容とアドミッションポリシーを十分理解し、明確な目的意識と強い勉学意欲をもっている人に入学の機会を与えることを目的としています。そのために、事前審査では2回の面談を課して、次のようなことを確認します。

- (1) 学校生活をどのように過ごしてきたか。また、何を身につけてきたか。
- (2) 本学へ入学後は何を学び、どのような学生生活を送ろうと考えているか。
- (3) 将来への具体的な目的や目標があるか。

また、出願資格とは別に海外留学経験者または語学力が優秀であると認められる場合や、資格・検定試験（実用英語技能検定・日商簿記検定・基本情報処理技術者など）を取得している場合は評価の対象になります。

事前審査の第1回目の面談では、学部・学科の体験セミナーを受講し、「受講レポート・基礎学力審査」と面談を実施し、次回面談時までに行っていただく基礎的な学習課題を指示します。第2回目の面談では、初回に出題された「課題」の成果の説明等を行っていただきます。これらにより最終面接者を決定し、決定された者に出願書類を送付します。なお、総合型選抜出願に際し、6月から9月に開催するオープンキャンパス等にできるだけ参加し、選抜説明と志望する学科（コース）の教育方針の説明を受けてください。

エントリー資格

- 高等学校または中等教育学校を卒業した者及び令和8（2026）年3月卒業見込みの者で、全体の学習成績の状況が**3.0以上**の者であること。
- 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び令和8（2026）年3月修了見込みの者で、全体の学習成績の状況が**3.0以上**の者であること。
- 学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び令和8（2026）年3月31日までにこれに該当する見込みの者。（高等学校卒業程度認定試験合格者等）

出願資格

- 上記「エントリー資格」に該当する者で、エントリーシート提出後、事前審査により最終面接者として決定された者。
- 福山大学経済学部、人間文化学部、工学部、生命工学部、薬学部のいずれかの学科（コース）を専願として入学を希望する者。

エントリーから合格発表まで（日程）

	第Ⅰ期	第Ⅱ期
エントリーシートの請求	随時	随時
エントリーシートの提出	8/8（金）～8/25（月）必着 必要事項をご記入の上、福山大学入試広報室まで持参または郵送（特定記録）してください。（必着）	9/22（月）～10/6（月）必着
事前審査（2回実施）	第1回面談 9/1（月）9:30～12:30 集合時間 9:00【時間厳守】 エントリーシートをもとに対応する専門の教員2人が面談を原則として2回行います。 面談は2回とも、学校法人福山大学社会連携推進センター（福山駅北口徒歩2分）で行います。	第1回面談 10/10（金）9:30～12:30 集合時間 9:00【時間厳守】 学部・学科別の体験セミナーを受講し、「受講レポート・基礎学力審査」と面談を実施、次回面談までに行っていただく課題を指示します。
事前審査結果の通知（出願書類送付）	9/18（木）	11/5（水）
出願書類の提出	10/1（水）～10/10（金）消印有効 事前審査等の結果により通知します。最終面接者として決定された者に出願書類を送付します。	11/6（木）～11/17（月）消印有効
面接試験	10/21（火）	11/26（水）
合格発表	11/1（土）	12/1（月）
入学手続完了日	11/11（火）	12/11（木）

期限までに手続きを完了してください。

なお、入学手続者を対象に入学前課題を学科別に実施します。

◇アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）

福山大学は、地域に広く開かれた大学であり、学生の皆さんが、地域で活躍し、地域から国際社会につながって、地域の未来に貢献していくことを期待しています。その実現のため、本学では自らチャレンジする意思を持ち、それを実際に行動に移すことで、幅広く社会の未来を創造していく人を募集します。

◆経済学部

経済学部は、経済社会への広い視野と深い理解を育み、企業や組織体を牽引するような学生の潜在力と実践能力を涵養することを目的としています。授業やゼミを通じて、経済や企業の振る舞いを理解するとともに、地域の産業のありようを把握します。

そのため、経済学部は次のような人を求めています。

1. 社会や経済の動きに興味を持ち、人一倍の学習意欲と行動力を持つ人
2. スポーツ指導者やスポーツ関連企業で活躍することを目指す人
3. 外国と関わる仕事で活躍することを目指す人
4. 税務・会計・経営の専門家として活躍することを目指す人
5. 主に地域社会で活躍し、地域社会の発展に貢献することを目指す人

上記のような知識や能力、態度などを身に付けているかを確認するため、審査・判定を行います。

○経済学部 経済学科

経済学科は、経済学の視座から社会を鳥瞰できる広い視野に加えて、経済問題の把握・分析をする実践的な能力を修得するとともに、経済や金融・スポーツ産業等のありようやあり方に十分な理解を有し、地域社会の発展に貢献する人材を育成します。基本的な経済理論と政策を知る姿勢のあることを前提に、経済学科では次のような人を求めています。

1. 総合経済コース 経済理論あるいは経済政策の含意を十分に理解しようとする人
2. 金融経済コース 現代の経済に欠かせない金融が果たす役割や効果について十分に理解しようとする人
3. スポーツマネジメントコース レジャー産業のメジャーであるスポーツの経済的側面と経営的側面を十分に理解しようとする人

上記のような知識や能力、態度などを身に付けているかを確認するため、必要に応じて筆記試験や面接、学習課題などを通して判定を行います。

○経済学部 国際経済学科

国際経済学科は、グローバル時代のビジネスパーソンに求められる経済問題の把握・分析をする実践的な能力や外国語能力を修得し、企業人又は公務員として活躍し、多面的に海外との関係の深い地域社会の発展に貢献する人材を育成します。そこで、国際経済学科では、次のような人を求めています。

1. 企業の国際関連部門や海外で活躍することを目指す人
2. グローバルな視点で民間企業で活躍し、地域経済の発展に貢献することを目指す人
3. 「公民」の高校教師として地域の発展に貢献することを目指す人
4. 大学院に進学し、より高度な専門知識を修得することを目指す人

上記のような知識や能力、態度などを身に付けているかを確認するため、必要に応じて筆記試験や面接、学習課題などを通して判定を行います。

○経済学部 税務会計学科

税務会計学科は、会計・経営を理解した上で、経営者が取り組んでいる実際の経営問題を調査、分析し、改善提案を行う学生を育成するために、経済全体を理解する経済学の学修にも力を注ぎます。また、備後経済をはじめ、全国各地の中小企業の発展のための経営人材を育成します。そこで、税務会計学科は、次のような人を求めています。

1. 社会経済の発展変化はどのように進んでいくのか、企業の盛衰は何によって決まるのか、経営者はどのような役割を果たしているのか、経営において会計の機能はどのようなものかといった疑問を持っており、それを解き明かそうとする意欲的な人
2. 将来、企業人、会計専門家として、日々の仕事の中に生きがいを見出し、社会に貢献していく人

上記のような知識や能力、態度などを身に付けているかを確認するため、必要に応じて筆記試験や面接、学習課題などを通して判定を行います。

◆人間文化学部

人間文化学部は、福山大学の教育理念である「人間性を尊重し、調和的な人格陶冶を目指す全人教育」に基づき、人間そのものと、人間が創り出した文化と、人と人をつなぐメディアについて学ぶ学部です。そこで、人間文化学部は次のような人を求めています。

1. 人間にに対して深い関心を持ち、人間が創り出した文化や社会について研究したいという意欲を持っている人
 2. 行動力があり活動的な人
 3. 社会的視野を広く持ち、社会から問題を見つけ、学んだことを実践し、社会に還元していく意志を持った人
- 上記のような知識や能力、態度などを身に付けているかを確認するため、審査・判定を行います。

○人間文化学部 人間文化学科

人間文化学科は、豊かな教養と広い視野を具え、主体的に問題を発見、解決する実践力と新しい文化を創造する意欲を有した、地域社会に貢献できる人間を育成します。そこで、人間文化学科は次のような人を求めています。

1. 小説、評論などに対する強い関心と高い読解力を有する人
2. 自分が興味・関心を持つ対象に関して、主体的に思考することができる人
3. 言語能力(コミュニケーション能力・分析力・表現力・語学力)を磨きたい人
4. 文化(言語・思想・歴史・文学)について幅広く学びたい人
5. 文化的創造(イベント企画・雑誌編集など)への意欲のある人

上記のような知識や能力、態度などを身に付けているかを確認するため、必要に応じて筆記試験や面接、学習課題などを通して判定を行います。

○人間文化学部 心理学科

心理学科は、心のはたらきや行動の仕組みについて広く学び、人間関係の調整役も出来る人を育成します。そこで、心理学科では次のような人を求めています。

1. 幅広く心理学を学びたいという好奇心に富み、向上心の高い人
2. 地域や社会に貢献する意欲やボランティア精神を有し、実行に移す行動力のある人
3. コミュニケーション能力を磨き、より良い人間関係・社会を築きたいと考える人

上記のような知識や能力、態度などを身に付けているかを確認するため、必要に応じて筆記試験や面接、学習課題などを通して判定を行います。

○人間文化学部 メディア・映像学科

メディア・映像学科は、急速に発展しているソーシャルメディアから従来のマスメディアまで、多様なメディアの役割や機能について学び、自ら情報を創出・発信する能力を育成します。そこで、次のような人を求めています。

1. 表現・会話・コミュニケーション・プレゼンテーションの能力を磨きたい人
2. SNS(Facebook, X (旧Twitter) など)・テレビ・映画・音楽・ゲーム・CG・Webなど、メディアについて幅広く学びたい人
3. 社会の時事的な問題の解決に意欲を持っている人
4. 情報系科目が得意な人

上記のような知識や能力、態度などを身に付けているかを確認するため、必要に応じて筆記試験や面接、学習課題などを通して判定を行います。

◆工学部

工学とは、公共の安全、健康、福祉のために有用な事物や快適な環境を構築することを目的とする学問です。

福山大学工学部は、数学と自然科学の必要性を理解し、人文科学・社会科学の知見も活かし、倫理観を備えた知的な「ものづくり」に貢献できる人材、及び、変動を続け、グローバル化する現代社会の諸問題を自ら発見し解決して、社会、とりわけ地域社会の改善に貢献するために、必要な新しい知識・技能を生涯にわたって自ら探求し学修を続ける人材の育成を目指しています。こうした人材が身に付けるべきは、「社会人としての心構え」「コミュニケーション能力」「協働する能力」「基礎的な科学力」「社会に貢献する能力」「研究能力」「自己研鑽」の各資質です。

入学者選抜においては、高大連携の各種方途も活かしつつ、これらの資質獲得への準備状態を多面的、客観的に判断するものとし、大学という知の共同体の一員として、教職員とともに上述した人材育成の目標にチャレンジする意志を持った人の入学を期待します。

○工学部 電気電子工学科

電気電子工学科は、我々の生活を支える機器や装置を電気・電子工学を礎に高機能化することを学び、生命や環境の保全に立脚した新技術を創造できる知識、技能、態度を有する人材を育成します。そこで、次のような資質を持つ人を求めています。

1. 身近な電気・電子機器や機械装置本体、その科学的な現象に興味を持ち、知識を身に付けようとする人
2. 専門分野の基礎となる数学、物理の必要性を理解し、それらを積極的に学び発展させることができる人
3. “モノづくり”に積極的に取り組み、自らのアイデアを実現したい人
4. 人及び自然に調和する新しい工学技術を創生したい人

上記のような知識や能力、態度などを身に付けているかを確認するため、必要に応じて筆記試験や面接試験、学習課題などを通して判定を行います。

○工学部 建築学科

建築学科は、建築物・インテリアから都市・地域に至るまでの、人間の生活環境全般にわたる幅広い範囲を扱います。特に、将来における地方都市の望ましいあり方を模索し、活性化と再生を推し進めるために、安全で安心な生活環境・品質が保証された建築物、及び地域のまちづくりの実現を担う専門技術者の育成を学科の目標としています。そのため、次のような人を求めています。

1. 建築物・都市・地域・インテリア等の幅広い人間の生活環境に対して興味を持ち、より良い生活環境をつくるための知識・技能・態度を学ぶ意欲がある人
2. 専門分野を修得するための基礎学力を有するとともに、幅広い教養を身に付けるための理工系・人文系・芸術系分野の基礎知識を修得するために努力する人
3. ものづくりや空間創造に興味があり、ものを立体的・空間的に捉えることができるとともに、そのための感性を磨き、丁寧な作業をする人
4. 大学で身に付けた知識・技能・態度を将来の生活環境向上のために役立てようとする強い意志を持つ人

上記のような知識や能力、態度などを身に付けているかを確認するため、必要に応じて筆記試験や面接試験、学習課題などを通して判定を行います。

○工学部 情報工学科

高度情報化社会の中で活躍できる情報処理技術者に必要なITと情報処理を学べる情報工学科は次のような人を求めています。

1. ITと情報処理に興味を持ち、幅広い知識と専門的な技能を学びたい人
2. 課題解決の中で思考・判断・表現を行い、必要な知識と技能を習得したい人
3. 様々な立場や価値観を理解したうえで、自分の役割を考えて行動できる人

上記のような知識や能力、態度などを身に付けているかを確認するため、必要に応じて筆記試験や面接試験、学習課題などを通して判定を行います。

○工学部 機械システム工学科

機械システム工学科は、ものづくりの基盤となる機械工学の基礎知識と応用について学び、先端的な設計技術や専門スキルを身に付けて、産業界のニーズに応える専門知識・技術を総合的に活用できる専門総合力や柔軟な発想と実践力のある人材の育成を目指します。そのため、次のような素質・素養を持った人を求めています。

1. 学習意欲を堅持し、目標に向かって粘り強く取り組む人
2. 高等学校での基礎的な学習内容を理解し、数学Ⅰ・数学Ⅱ及び物理を学んでいる人
3. ものづくりに関心があり、特に機械・輸送機器の設計・開発に興味を持っている人
4. 機械分野及び船舶海洋分野の仕事に携わりたい人
5. 機械系エンジニアとして専門力だけではなく、人間力の向上に関心のある人
6. 地域社会への貢献について関心のある人

上記のような知識や能力、態度などを身に付けているかを確認するため、必要に応じて筆記試験や面接試験、学習課題などを通して判定を行います。

◆生命工学部

生命工学部は、福山大学の教育理念に基づいた上で、カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）に示した目的を持っています。そこで、生命工学部では次のような人を求めています。

1. 生物資源、陸や海、環境、ヒトの栄養・健康などに対して深い関心を持ち、それらを研究対象とする意欲を持っている人
2. 探究心が強く、コミュニケーション能力が高く、行動力のある人
3. 人々の抱える諸問題を見つけ、身に付けた能力を社会に還元していく意志を持った人

上記のような知識や能力、態度などの資質獲得への準備状況を多面的、客観的に審査・判定します。

○生命工学部 生物科学科

生物科学科の目的を踏まえ、次のような人を求めています。

1. 食と環境、生物や生態系の仕組みなど生命科学に強い興味を持つ人
2. 人と自然が共生するなかで生物の持つ力を活用し、生活や産業の発展、課題の解決にチャレンジする意欲を持つ人
3. ローカルとグローバルな視点を併せ持ち、他の人と協力して社会の発展に尽くしたい人

上記のような知識や能力、態度などを身に付けているかを確認するため、必要に応じて筆記試験や面接、学習課題などを通して判定を行います。

○生命工学部 健康栄養科学科

健康栄養科学科は、食を通じた支援と活動により、地域社会に貢献できる人材を育成するため、次のような人を求めています。

1. 管理栄養士を目指す強い目的意識を持つ人
2. 自然科学の基礎知識を習得し、新たな課題への探究心を持つ人
3. 人の健康に関心を持ち、食・栄養・健康に関する仕事を通じて社会貢献を果たす意欲を持つ人
4. コミュニケーション能力を有し、これをさらに向上させようとする人

上記のような知識や能力、態度などを身に付けているかを確認するため、必要に応じて筆記試験や面接、学習課題などを通して判定を行います。

○生命工学部 海洋生物科学科

海洋生物科学科は、海洋の生物と環境についての深い理解に基づいて、海洋の環境と生態系の保全、あるいは海洋生物資源の持続可能な利用に主体的に取り組み、循環型社会の構築に貢献できる人材を育成します。

このため、海洋生物科学科では次のような人を求めています。

1. 海の生物や環境に強い関心を持っている人
2. 生命を尊重し、自然を敬うことができる人
3. 将来の目標を明確に定め、その目標にチャレンジしようとする意志を持つ人
4. 自らの可能性を信じ、目標の達成のために継続的に学修することができる人
5. 豊かな社会の実現のために貢献する意欲を持っている人

上記のような知識と能力、態度などを身に付けているかを確認するため、必要に応じて筆記試験や面接、学習課題などを通して判定を行います。

◆薬学部

薬学部は、医療人としての教養と倫理観及び薬剤師としての確かな専門知識・技能を身につけ、医療や社会のニーズに対して強い責任感と探求心を持って対応し、自らの能力と専門性を高めていくことができる人材を育成することを目的としています。そのため、薬学部は、ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）である「薬学部の5つの資質」を修得することができる、次のような素養を持つ人を求めています。

1. 基礎学力【知識、思考力、判断力】入学後の学修に必要な基礎学力を有する人
(資質2, 3, 4の修得に必要な素養)
2. コミュニケーション能力【技能、表現力、態度】主体性を持って友と共に学ぶコミュニケーション能力を持った人
(資質1, 2, 3, 5の修得に必要な素養)
3. 自己研鑽と社会貢献の姿勢【態度】自ら学ぼうとする姿勢を持ち、何事にも意欲的に取り組むことのできる人
人への思いやりを持ち、薬の専門家として社会に貢献したいと思う人
(資質1, 5の修得に必要な素養)

上記のような知識や能力、態度などを身に付けているかを確認するため、選抜制度において、様々な視点で審査・判定を行い、多様な人材を受け入れています。

詳しくはホームページのアドミッション・ポリシーを参照してください。また、アドミッション・ポリシーと関連しているディプロマ・ポリシー「薬学部の5つの資質」も参照してください。

高等学校段階で習得しておくべき内容

○経済学部

高等学校において、英語・数学・国語を中心とした基礎学力を身に付けるよう努力してください。英語の基礎学力は、国際的なコミュニケーション能力を本格的に養うためのものです。数学の基礎学力は、事象について数学的に推理する能力や論理的に推察する能力を用いる専門科目の講義を受けるためのものです。国語の基礎学力は、講義やゼミナールで文献を読んだり、レポートを書いたり、自分の意見を発表するためのものです。

○人間文化学部

高等学校において、英語・国語・社会を中心とした基礎学力を身に付けておいてください。英語の基礎学力は、大学において国際的なコミュニケーション能力を本格的に養うために必要です。国語・社会の基礎学力は、講義やゼミナールで文献を読んだり、レポートを書いたり、自分の意見を発表するために必要です。また、理系科目（数学、理科）を学び、自然科学の基礎知識を習得することも望されます。

○工学部

高等学校において、数学と自然科学〔物理、化学、生物〕の必要性を理解し、それらの学びを通じて、論理的思考力を身につけるようにすることが必要です。また、論理的な文章を書くための国語力を身に付けること、英語の文献を理解する能力、国際社会でのコミュニケーションの能力を養うために英語の基礎学力を身に付けることも重要です。

○生命工学部

高等学校において、化学、生物、数学などの理系教科を学び、自然科学の基礎知識を習得しておくことが望れます。これらの科目を学習することで物事を論理的にとらえる力を身に付けておくことが大切です。また、実験レポートの作成や英語の論文を読むためには、基本的な国語力と英語力が必要です。

○薬学部

高等学校において、特に薬学に必要な理系教科（理科〔物理、化学、生物〕、数学）の基礎知識や入学後に必要となる基礎英語力・日本語読解力を身に付けることが重要です。また、薬剤師に必要な、コミュニケーション能力、自己研鑽力、思いやりを持って社会に貢献したいと思う意識を身に付けることも重要です。

総合型選抜 Q & A

Q1：他の選抜制度との違いを教えてください。

A：他の選抜は、高等学校または中等教育学校の調査書や基礎学力検査または各教科・科目に係る学力試験を中心とした選抜方法ですが、総合型選抜では、志望者の学校での活動状況などをもとに筆記試験に頼らない多面的な評価と志望学科（コース）への目的意識、熱意、意欲、適性などを評価する面接重視の選抜方法です。

Q2：総合型選抜ではどんな学生を求めていますか。

A：①各学科（コース）の内容に強い関心をもち、入学後にはそれらに関する勉強や研究・調査等を行う意欲のある人で、自主性、主体性、実行力、表現力などの能力や個性の豊かな人。例えば、資格取得・検定合格者、海外留学経験者、クラブ活動・生徒会活動・ボランティア活動などで中心的役割を担った人。
②専門的な資格取得に意欲のある人。

Q3：総合型選抜にエントリーする方法を教えてください。

A：本学所定のエントリーシートに必要事項を記入し、本学入試広報室まで持参または郵送（特定記録）してください。なお、エントリーは出願ではありませんので、入学検定料は不要です。ただし、最終面接者として決定され、出願書類を提出する際には、入学検定料が必要となります。

Q4：エントリー時の事前審査はどのような内容ですか。

A：提出されたエントリーシートをもとに、事前審査を2回行います。
1回目は、学部・学科別の体験セミナーを受講し、「レポート作成」と面談を行い、志望する学科（コース）の特色や教育内容等を理解してもらうと同時に、志望動機や入学後の抱負等について話していただきます。面談終了時には、面談内容をもとに課題（小論文または発表等）が出題されます。2回目は、1回目に出題された課題に対する取り組みを評価し、最終面接者を選考します。なお、面談は2回とも学校法人福山大学社会連携推進センター（福山駅北口徒歩2分）で行います。

Q5：事前審査で実施する「基礎学力審査」とはどのような内容ですか。

A：高等学校または中等教育学校で学習した内容に基づき、学科独自の審査を課す場合があります。

Q6：出願書類提出後の面接試験の課題はどのような内容ですか。

A：志望動機や入学後の抱負・研究したいこと等について考えていることをテーマとした内容と、志望学科（コース）関連の社会で話題となっている事項などを課題として、小論文（950字～1,000字以内）または発表（15分間程度）を課します。また、決められた日程及び時間内に課題を提出あるいは発表することも選考の対象となります。

Q7：他大学及び他学科との併願はできますか。

A：総合型選抜は専願制です。選考の結果合格した場合には、福山大学に入学していただくことが条件となります。

Q8：障害のある生徒の受験および入学後に必要となる支援についてはどこに問い合わせたらよいですか。

A：以下の相談窓口までお問い合わせください。【受付時間】平日9:00～17:00（土日祝休・年末年始休）

受験に必要となる支援についての問い合わせ先

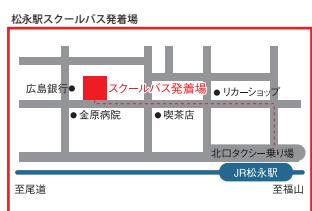
福山大学 入試事務局（福山大学 入試広報室）TEL 084-936-0521

入学後に必要となる支援についての問い合わせ

福山大学 障害学生支援室 TEL 084-936-2112（内線 2271）

福山大学

学校法人福山大学社会連携推進センター
(福山駅北口 徒歩2分)



総合型選抜(一般)についての問い合わせ先（エントリーシートの請求）

〒729-0292 広島県福山市学園町1番地三蔵

福山大学 入試広報室

TEL 084-936-2111(代表)・084-936-0521(直通)

<https://www.fukuyama-u.ac.jp>